

## 陳情者（洲崎陣出の杜の会）との意見交換について

## ■第1回：平成27年1月30日

- ・陳情提出の経緯、陳情の趣旨を確認する。
- ・特に、JR東日本へ寄付等の協力要請をしてほしいということ、まちづくりのテーマを変えて土地利用を見直したいということが主張される。
- ・市としては、話し合いをしながら、着地点を探っていきたい考えを伝え、洲崎陣出の杜の会からも了承を得る。
- ・また、他の市民からも意見を聞いていかなければならないため、意見交換会を開催することを伝え、了承を得る。

## ■第2回（事務打合せ）：平成27年2月16日

- ・第3回以降の意見交換の進め方等について、事務的な確認を行う。

## ■第3回：平成27年3月11日

- ・本市の抱える課題、「ウェルネス」「健康生活拠点・深沢」の策定の経緯及び考え方を説明する。
- ・洲崎陣出の杜の会からは、市の説明に対して、考え方が違う旨の発言を受ける。
- ・今後要望を提出していく考えであることが示される。
- ・また、洲崎陣出の杜の会としては、より多くの専門家や、より多くの市民意見を聞いてほしいとの要請を受ける。
- ・市として、今後陣出の会も入れた中で、市民意見を集約していきたいと考えていることを伝え、了承を得る。
- ・JR東日本との協議経過の説明を求められる。

## ■第4回：平成27年3月19日

- ・これまでの市とJR東日本との協議について説明する。併せて、市民意見の取り入れ方として、ワークショップ方式の議論の場の開催を考えていることを伝える。
- ・洲崎陣出の杜の会から要望事項と土地利用計画の提案が示される。
  - ・都市型住宅は廃止し、全面低層住宅とする。
  - ・大型商業施設には反対する。
  - ・地区北東に行政施設を集約し、泣塔を中心とした洲崎陣出の杜を整備する
  - ・湘南深沢駅前広場をターミナル化し、拡充する 等
- ・洲崎陣出の杜の会からは、JR東日本の土地利用について多くの質問があったが、JR東日本としては、平成22年9月の土地利用計画（案）は了承している。これを基にした具体的な計画は、現時点で示されているものはないと回答する。
- ・また、洲崎陣出の杜の会として、JR東日本に対し要望書を送る旨の発言を受ける。

## ■第5回：平成27年6月24日

- ・第4回に提出された要望に対する市の考え方を示す。
- ・市の主な考え
  - ・少子化・高齢社会等の市の課題への対応、拠点性の確保や事業の実現性の確保という観点から、都市型住宅や商業施設を廃止することは難しい。
  - ・行政施設については、提案のとおり、現在の多目的広場の位置を中心に集約が可能かを検討する。
  - ・駅前交通広場については、提案のとおり、湘南深沢駅と連携できる形状を検討する。
  - ・建物の高さについては、街区によっては一定の高さは必要であると考えているが、既存建物との関係等に考慮し、今後、街区ごとの高さなどを定めていく。
  - ・景観や視点場等については、市民意見交換会の中でのテーマとしていきたい。
- 等を考えていることを回答する。
- ・ワークショップ形式の意見交換会を開催し、洲崎陣出の杜の会にも参加してもらいたい旨、重ねて伝える。また、意見交換会のテーマについても、同会と話しながら調整していく考えを伝える。
- ・洲崎陣出の杜の会としては、市の回答では、承諾できない。
- ・洲崎陣出の杜の会としては、「我々としては同じ主張を繰り返していく、それがダメならば、交渉は打ち切りでよい」という考えが示される。
- ・洲崎陣出の杜の会からイメージパースが示される。主な要望としては、
  - ・モノレール湘南深沢駅の拡充強化と施設の充実
  - ・駅前交通広場の拡充強化と施設の充実
  - ・深沢の地域風土を活かした戸建て住宅の導入
  - ・公共用地の集約による「洲崎陣出の杜」の創出

## ■第6回：平成27年7月21日

- ・ワークショップ形式の市民意見交換会の概要、検討テーマについて説明する。
- ・洲崎陣出の杜の会として意見交換会に参加するかどうかは、役員会に諮り、判断したいとの意向が示される。
- ・洲崎陣出の杜の会として、今後は、署名活動を行うなど、地元で独自の活動を行っていく。後は、政治判断に委ねるとの考えが示される。

## ■その後のやり取り

- ・市から意見交換会への参加について確認の連絡をしたところ、不参加の回答を受ける。その際、意見交換会の中で意見を説明してはどうか提案したところ、難しいかもしれないが役員会で検討するとの回答を受ける。
- ・市から意見交換会で意見を説明する件について確認の連絡をしたところ、役員会での検討の結果、説明することになったと回答を受ける。